

目黒区慢性腎臓病(CKD)対策ネットワーク(MCN)立ち上げのご案内

2019年3月吉日

拝啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より病診連携におきまして多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございます。

近年、慢性的に尿所見に異常があったり、腎機能が低下したりした状態を包括した概念として、慢性腎臓病(以下 CKD)というものが提唱されていることはご存知かと思えます。我が国は世界有数の透析大国であり、残念ながら患者数は増加の一途をたどっております。透析や腎移植といった腎代替療法を必要とする末期腎不全患者を減らすためには、早期発見・治療開始が非常に重要となるものの、腎臓病は早期には自覚症状がほとんどありません。CKDとは原因を問わず尿所見異常や腎機能低下を認める状態を意味するととても広い概念ですが、その大きな網で初期の患者を拾い上げ、精査・加療していくことが非常に大切です。

それを実践していくためには地域の先生方との連携が不可欠であり、このたび目黒区医師会の先生方と目黒区の基幹病院(東邦大学医療センター大橋病院、東京医療センター、厚生中央病院、三宿病院)、そして関係団体の協力で、2018年に目黒区 CKD 対策ネットワーク(MCN)を立ち上げました。同年9月にはCKDの啓蒙を目的として区民公開講座を開き、ご好評を頂きました。今後は学術集会にてかかりつけ医の先生方と一緒に知識の向上を図り、また区民公開講座も引き続き開催していく予定であります。

最後になりますが、地域の先生方との円滑で、そして緊密な病診連携を行っていくために連携ガイドおよびCKD診療情報提供書を作成しましたので、ご活用頂ければ幸いです(本ホームページからダウンロード可能です)。

今後ともどうぞよろしくお願い致します。

敬具

目黒区 CKD 対策ネットワーク 世話人
東京共済病院 腎臓高血圧内科
大井 克征